

ひらつか 議会だより

平成31年(2019年)2月1日
発行 平塚市議会

第208号 編集 議会報編集委員会
〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号
電話 0463-23-1111(市役所代表)・21-8791(議会局直通)
FAX 0463-24-4151

平成30年12月 市議会定例会

定数を28人から26人へ削減

市議会議員定数条例を一部改正

平塚市議会は、平成30年11月28日から12月21日まで、24日間の会期で12月定例会を開催しました。今定例会では、市長提出議案として、30年度補正予算や人事案件など22案件が提出され、審議の結果、全ての議案を原案どおり可決、承認、同意しました。なお、9月定例会で提出され継続審査となっていた、29年度決算の認定などに関する議案は、決算特別委員会での審査結果を受け、認定、可決しました。また、議員から議員定数の削減に関する会議員案が提出され、審議の結果、原案どおり可決しました。

※議案と審議の結果は8面に掲載しています。

新しい定数は次回の選挙から

今定例会の最終日に、議員から本市議会議員の定数を2人削減して26人とする条例改正の会議員案が提出されました。

提案説明では、提出議員の代表者から、本市財政の硬直化や将来の人口減少を踏まえ、議会改革の観点や市民意識などから定数を削減し、質の高い議会運営を進めたいと改正の理由が述べられました。

質疑では、議員の期末手当の引き上げとの整合性や、定数削減後の議会の在り方などが問われました。

討論では、4人の議員が意見を述べました。賛成の議員からは、身を切った改革の姿勢を示し、少数精鋭の議員が市民意見の集約に努めることで負託に応えるべきであるとの意見がありました。一方で、反対の議員からは、議論が不十分で進め方に問題があることや、民意を市政に反映させるこ

とが難しくなることなどの意見がありました。

採決では、賛成多数で可決しました。なお、新しい定数は、次の一般選挙から適用されます。

◆**総合体育館武道場の設備使用料金を設定**

総合体育館の武道場へ冷暖房設備を設置することに伴い、設備の使用料を定め

◆人事案件に同意

監査委員の辞任に伴い、後任として井澤郁人氏(めぐみが丘一丁目)を選任する議案に全員異議なく同意しました。

るため都市公園条例の改正が提案され、全員異議なく可決しました。新たに設置する冷暖房設備の使用料は、平成31年4月1日以降の利用から、1時間当たり市内料金が500円、市外料金が1千円となります。

◆指定管理者の指定

指定管理者の指定に関する議案について、全員異議なく可決しました。次の施設は、31年4月1日から5年間、指定管理者が運営・管理を行います。(勤労会館、土屋霊園、市営住宅及び共同施設、旧横浜ゴム平塚製造所記念館、軟式庭球場・桃浜町庭球場・大神スポーツ広場、湘南ひらつかパークゴルフ場・土沢野球場・土沢多目的広場)



23回目を迎えた旭郷土かるた大会。旭南公民館に約170名の小学生が集まり、地域の風物にちなんだかるたを取り合いました。

平成30年度予算を補正 一般会計総額817億9413万円に

- ◆**一般会計では、専決処分を行った30年10月の台風24号により発生した被害に伴う災害復旧に関する経費の補正予算を承認しました。また、既定予算で措置できなかった経費などの補正予算を可決しました。**
- ◆**この結果、一般会計の予算総額は817億9413万円となりました。**
- ◆**一般会計補正予算の一部を紹介**
- 〔国民年金事業〕**
- 制度改正に伴うシステムの改修経費**……………258万円
- 〔総合公園屋外トイレ改修事業〕**
- 公園内屋外トイレの改修などの経費**……………4601万円

主な内容

総括質問	2~7面
清風クラブ	2・3
佐藤貴子 野崎審也 坂間正昭 諸伏清児	
湘南フォーラム	4
内堀祐一 府川正明	
公明ひらつか	5
伊東尚美 鈴木晴男 秋澤雅久	
平塚自民クラブ	6
吉野和美 白井照人	
日本共産党平塚市議会議員団	6・7
高山和義 渡辺敏光	
無所属	7
端 文昭 江口友子 府川 勝	
常任委員会の審査概要	4・5面
議案審議の結果	8面

平成29年度 決算を認定

《《決算特別委員会の質疑内容は3面に》》

9月定例会で継続審査となっていた29年度の決算の認定などに関する議案は、付託した決算特別委員会で詳細な審査を行いました。

一般会計の決算額は、歳入が総額860億8392万円で、前年度比1.2%の増加となり、歳出が総額824億3136万円で、前年度比1.6%の増加となりました。歳入では、借入抑制による市債などの減少、市税などの増加がありました。歳出では、新庁舎建設や総合公園施設改修などに関する増加、余熱利用施設整備の完了などによる減少がありました。

特別会計の競輪事業では、メインスタンドの建築工事や競走路の改修などが行われ、KEIRINグランプリ2017などが開催されました。

病院事業では、県から救命救急センターの指定を受けるとともに、国が目指す医療体制を見据えた診療報酬の施設基準を取得するなど、新たな理念と基本方針の下、病院運営が進められました。また、本館改修等工事と南館解体工事が実施されました。

下水道事業では、中長期的な経営の基本計画である経営戦略の策定に着手するとともに、東部ポンプ場の耐震長寿命化対策工事が実施されたほか、ツインシティ大神地区の公共下水道の整備や国道1号の管路地震対策事業が進められました。

これら決算の認定などに関する4案件について、本定例会初日に採決を行い、認定、可決しました。



29年6月にオープンした競輪場メインスタンド